

日 時：令和3年8月18日(水) 9時30分～11時30分

理事数：19名(理事定数10名以上20名以内、定款第11条)

出席理事：19名 坂本秀生(理事長)、三善英知、山藤 賢、坂口みどり、市野直浩、小野川 傑、齋藤良一、吉田祥子、井口文子、中前雅美、野島順三、古閑公治、松林こずえ、山口 聡、高崎昭彦、目黒玲子、關谷暁子、大瀧博文、高田智世

出席監事：1名 齋藤邦明

欠席監事：1名 上原昭浩

報告事項

1) 委員会・部会報告

調査研究委員会 吉田祥子委員長より以下の報告があった。

1. 調査研究の実施予定および検討事項

- ①臨地実習前の総合実習実施状況調査
- ②進路状況調査
- ③入学状況調査
- ④その他の検討事項

2. 年間スケジュール

1) 令和3年度 臨地実習前の総合実習の実施状況調査

期日	令和3年8月中旬	9月下旬	10月中旬	11月上旬	12月中旬
内容	理事会・評議員会にて臨地実習前の総合実習調査のアナウンス	調査票をメール配信	調査票締切	調査結果取りまとめ	理事会・臨時総会で報告

2) 令和4年度 進路状況調査・入学状況調査(隔年実施の基礎調査)

期日	令和4年5月下旬	6月中旬	7月下旬	8月上旬	12月中旬
内容	理事会・定期総会にて進路状況調査・入学状況調査のアナウンス	調査票をメール配信	調査票締切	調査結果取りまとめ	理事会・臨時総会で報告

国家試験対策委員会 井口文子委員長より以下の報告があった。

1. 模擬試験進捗状況

7月下旬問題作成編集終了し、現在校正作業中。
9月初旬印刷所に入稿、10月中旬加盟校へ発送予定。

2. 委員任期の変更

現行の12月～翌々年11月を他委員会の任期と同様の5月総会～翌々年5月総会前日までとする。

編集委員会 齋藤良一委員長より以下の報告があった。

1. 「臨床検査学教育」13巻2号(2021年9月1日発刊予定)

総説3件、報告2件、関連学会報告1件、教育機関紹介2件、国際交流1件、書評、編集後記

2. 「臨床検査学教育」14巻1号(2022年3月1日発刊予定)

原著1件、報告2件その他、学術集会における講演資料、教育機関紹介、関連学会報告、国際交流、書評、編集後記等が追加される予定

3. 2021年度編集委員会について

- ✓ 第1回 編集委員会 6月16日～23日 メール会議
- ✓ 第2回 編集委員会 8月下旬～9月上旬予定 オンライン会議

学会運営委員会 古閑公治委員長より以下の報告があった。

1. 第18回日本臨床検査学教育学会学術大会
 開催年：令和6年（2024年）8月予定
 担当校：新潟大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻
 大会長：池主 雅臣（ちぬし まさおみ）先生
 実行委員長：佐藤 拓一（さとう たくいち）先生
 施設連絡責任者：富山 智香子（とみやま ちかこ）先生
2. 年度別スケジュール（案）

スケジュール（案）			
期日	令和3年12月中旬 理事会・臨時総会	令和4年5月中旬 理事会・定時総会	令和4年8月下旬～12月中旬 理事会・臨時総会等
内容	日本臨床検査学教育学会 運営規程の改定（案）	学術評議委員会会則（旧 評議員 会会則の変更）の改定（案）	第19回日本臨床検査学教育学会 学術大会開催校選定について

学術委員会 高崎昭彦委員長より以下の報告があった。

1. 令和3年度分科会会長・副会長の決定
2. 令和3年度分科会会則につき市野担当副理事長より送付し、運用の開始をお願いした。
3. 「技能修得到達度評価」について 別添：報告1- 技能修得到達度評価
 R3 定時総会で報告された「臨地実習前技能修得到達度評価について」の訂正版を加盟校に送付、同時に内容に関しての意見を聴取した。今後、各分科会で本資料を基に必要に応じて内容の再検討して頂く予定。
 ＊2022年入学者が「技能修得到達度評価」を受けるのは早くも2023年度である。本年度に素案を定め、2022年にはできれば初案の確定を目指す。
- 2) 募集中のパブリックコメントについて
 臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令案の概要にある、臨地実習において学生に必ず見学させる行為へ、運動誘発電位検査、体性感覚誘発電位検査、消化管内視鏡検査を追加することに関する意見募集の案内
- 3) 臨地実習指導者講習会の運営について 別添（報告3 資料説明、報告3-1～5の合計6点）
 - ① 中央講習会を10月17日、24日、31日と3回行い、地方会場で日臨技側の世話人育成を行う。
 - ② 地方講習会は令和4年3月末までに1回開催。
 - ③ 日臨教内に「臨地実習指導者講習会ワーキンググループ」を発足し、グループワークへ協力頂く、講師、世話人、臨地実習調整者をこれから各校から募集。
- 4) その他

審議事項

第一号議案 各種委員会及び部会の委員の承認

令和3-4年度の各種委員会及び部会の委員名簿が提出され承認された。

第二号議案 新規評議員の承認

令和3年度定時総会にて入会が承認された4校のうち、福島県立医科大学、日本医療科学大学、群馬医療福祉大学から学術評議員として学術理事会で承認され、12月の臨時総会へ審議事項としてあげることとした。

評議員の定数が100名であるが、現在の加盟校は93校であり今後も増加することが予想され、定員数の見直しについて提案があり、今後の検討課題とした。

第三号議案 新規入会校の承認

熊本大学医学部保健学科 検査技術科学専攻から入会申請書が提出され、承認されたので12月の臨時総会へ審議事項としてあげることとした。

第四号議案 名誉会員の推薦

前理事長である奥村伸生先生を、名誉会員として定款 第2章 会員 第5条 から、理事会として承認し、12月の臨時総会へ審議事項としてあげることとした。

(3)名誉会員：本法人理事長経験者等、この会に顕著な功績のあった者の中から、理事会の議を経て、総会で承認された者とする。

第五号議案 臨地実習指導者講習会の運営

第2回理事会で発足が認められた「臨地実習指導者講習会ワーキンググループ」の取りまとめ役を坂口副理事長とし、今後の臨地実習指導者講習会の運営を進めることが承認された。

第六号議案 国家試験問題検討委員会について

毎年2月の国家試験終了後、問題を総括して厚生労働省へ協議会として要望書を提出する作業につき、令和2年度の国家試験問題検討委員会委員長をご担当頂いた、日本医療科学大学保健医療学部 臨床検査学科長の伊藤昭三先生から注意事項及び国家試験問題検討委員会として行うことにつき説明を頂き、令和3年度の準備を開始することとした。

第七号議案 役員の選任時期について

定款では、事業年度は4月1日に始まり翌年3月31日までである。現状では役員の選任時期が5月末の定時総会となっているが、5月の定時総会で役員決定を行う状況では、引き継ぎが上手く行えないこと、役員が退職等で3月末から定時総会時まで業務が滞ることがある。

役員選考規定では理事長候補者の決定は任期満了の前2ヶ月までに行えばよいので、事業年度末の3月までに臨時総会を開催し、4月までに理事長及び新役員を決定することが可能か、今後検討することとした。

第八号議案 国家試験合格時の基礎情報蓄積について

臨床検査技師国家試験合格者の誕生年月、性別を基礎情報として蓄積できるよう審議したが、個人情報であり目的が明確では無いので現時点では保留とし、継続審議とした。

第九号議案 その他

なし

令和3年8月26日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印